

2011.12月

品質月報

Monthly Quality Report

12月号 INDEX

12月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
「幸福度トップ福井、東京38位 最下位大阪」

PAGE 5 ……今月の品質状況

11月は市場不良2件

PAGE 6 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 7 ……品質状況詳細

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 8 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)

PAGE 9 ……活動報告

開発支援機種で生産立ち上げ支援



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果と品質マネジメントシステムの効率的な運用により、お客様のニーズを満たす製品開発と安定的な製品供給をおこない、電機業界および社会へ貢献して参ります。

1. 事業活動において、いかなる場合も品質マネジメントシステムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遂行を通し品質の向上につとめて参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた品質マネジメントシステムの継続的な改善につとめて参ります。
4. 品質マネジメントシステムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成18年7月1日
サンシングループ
代表 石井宏宗

石井宏宗



今月のトピックス

幸福度トップ福井、東京38位 最下位大阪

国民総幸福度(GNH)で知られるブータンの国王夫妻が来日した11月。東京都内での歓迎式典に招かれた福井県の西川一誠知事は国王に「福井県は都道府県の幸福度で日本一です」と胸を張った。

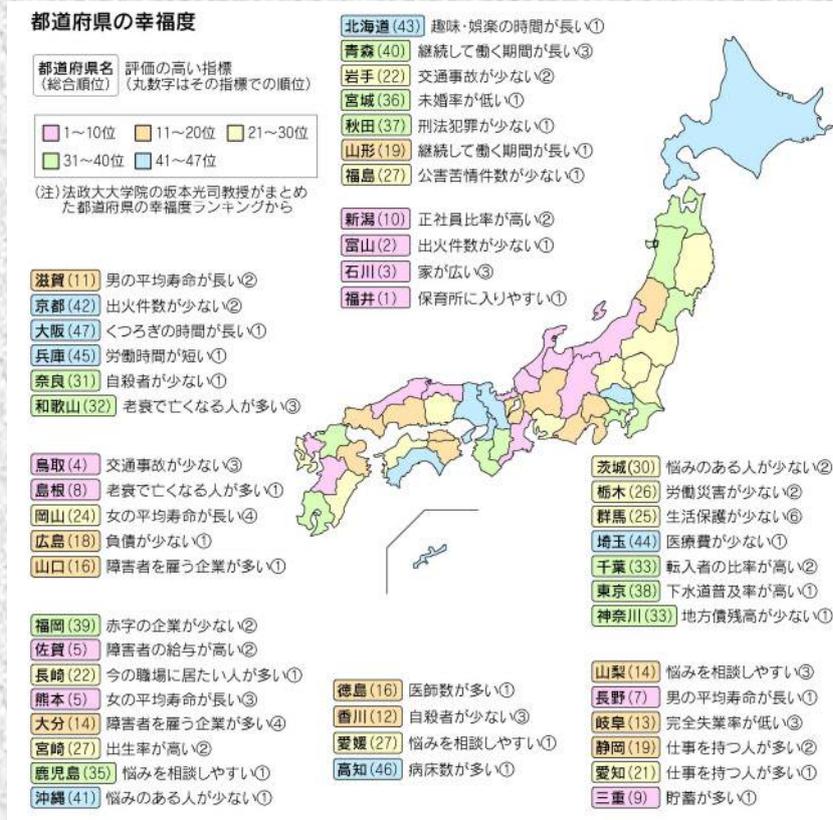
福井県がトップになったのは、法政大が40の指標から算出した都道府県の幸福度ランキング。

最下位の大阪府では、11月の府知事選と大阪市長選で大阪市長になった橋下徹氏が論争材料に提示。35位の鹿児島県では「佐賀、熊本が5位なのに豊かな自然と歴史のある鹿児島がなぜ低いのか」と県議会で伊藤雄一知事が追及された。

指標しだいで順位は変わるため、都道府県ランキングには異論もある。作成した法政大学大学院の坂本光司教授は「順位付けが目的ではない。40の幸せの物差しのうち、どこが進み、何が足りないのか、地域で考えて欲しい」と話している。



(12月25日 日本経済新聞)



確かに、この順位にはあまり意味が無いように思われます。

しかし、いくつかの指標で自らを評価したときに、

「どこが強みか」
「何が足りないか」

などということを考えて、今後、どんなところに重点的に力を入れて取り組んで行くべきかを考えてみるのも重要なことではないかと感じます。

ところで、新たに何かに取り組む場合にも、いろいろと問題が発生してきます。

「何かに取り組む。」「それがうまくいかない。」
このような場合、ついつい他人のせいにしてしまいます。
でも、問題は「誰かのせいにする、何か解決するのか？」ということです。

私自身も、他人のせいにせず、日々努力することが必要と感じました。

(品証 林)

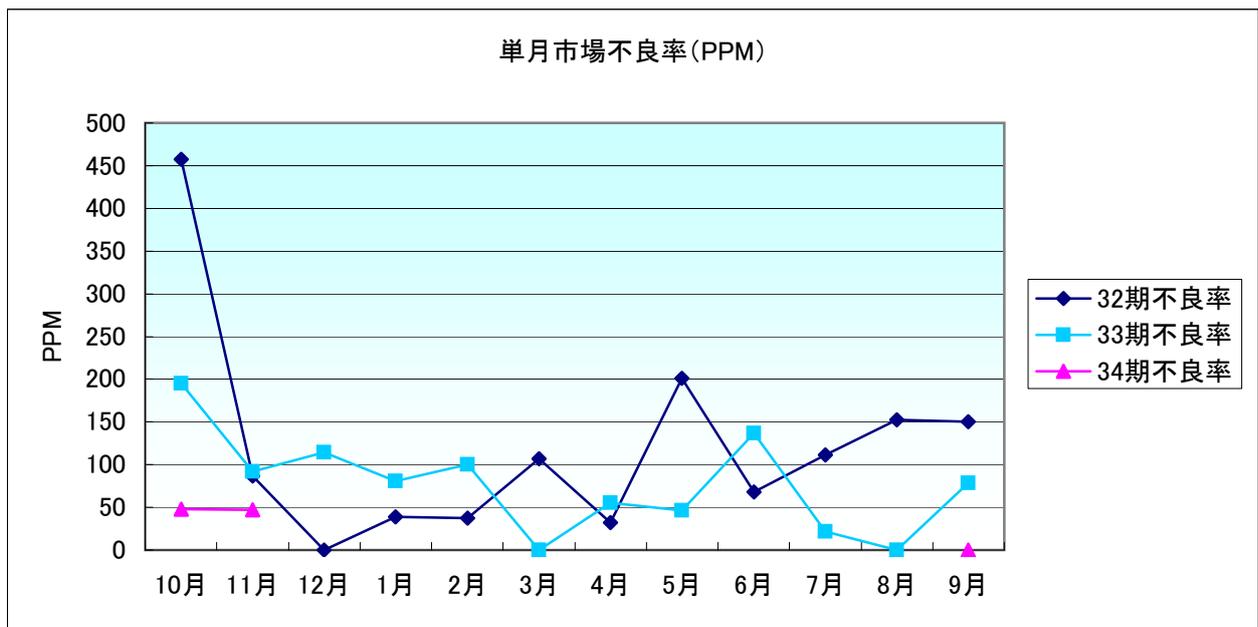
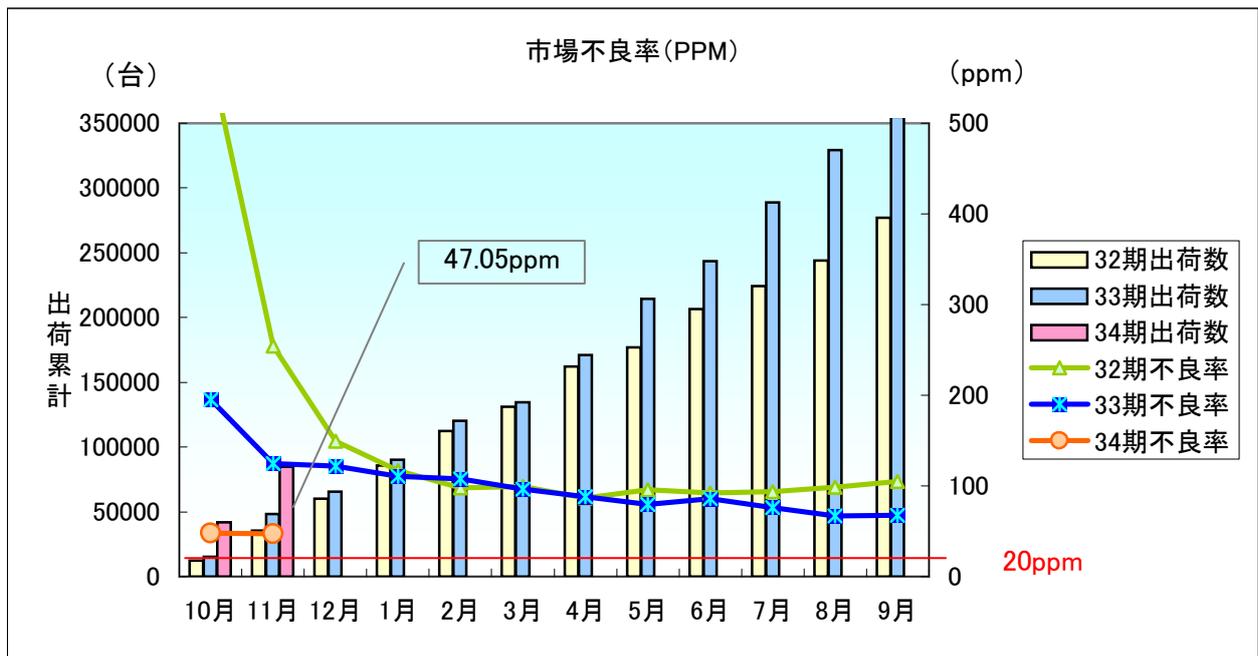
今月の品質状況

34期の旗印

納入不良率 目標……20ppm

34期が始まりました。
 11月までの累計不良率は**47.05ppm**です。
 2件の不良が発生し、10月からの不良率はまったくの横ばい状態です。

今後も、新機種量産に伴い、増産や新工場での生産など、不安定要因が控えております。
 品質が崩れないように十分に注意して行きたいと思っております。ご協力お願いいたします。

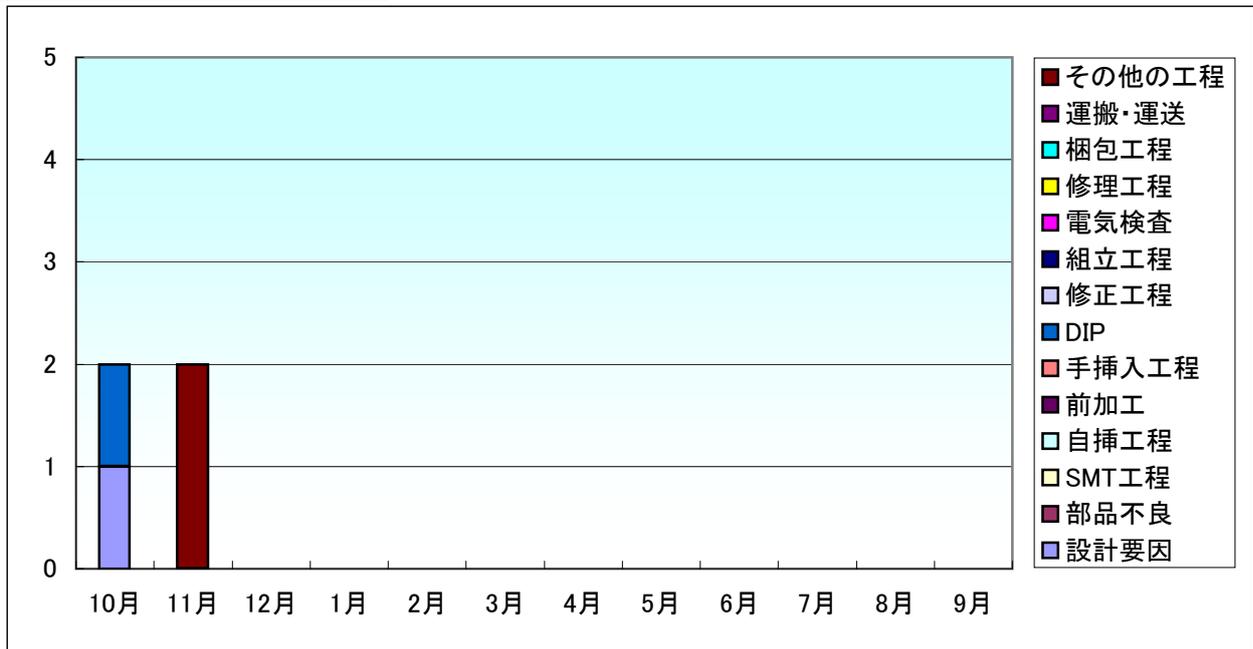


11月は市場不良2件です。ポカミスによる不良が2件発生。
 このような不良は最近なかったことから、根本的な問題が潜在しているものと思われます。
 この問題を軽視せず、継続して注意していかなければいけないと思っております。

品質状況詳細

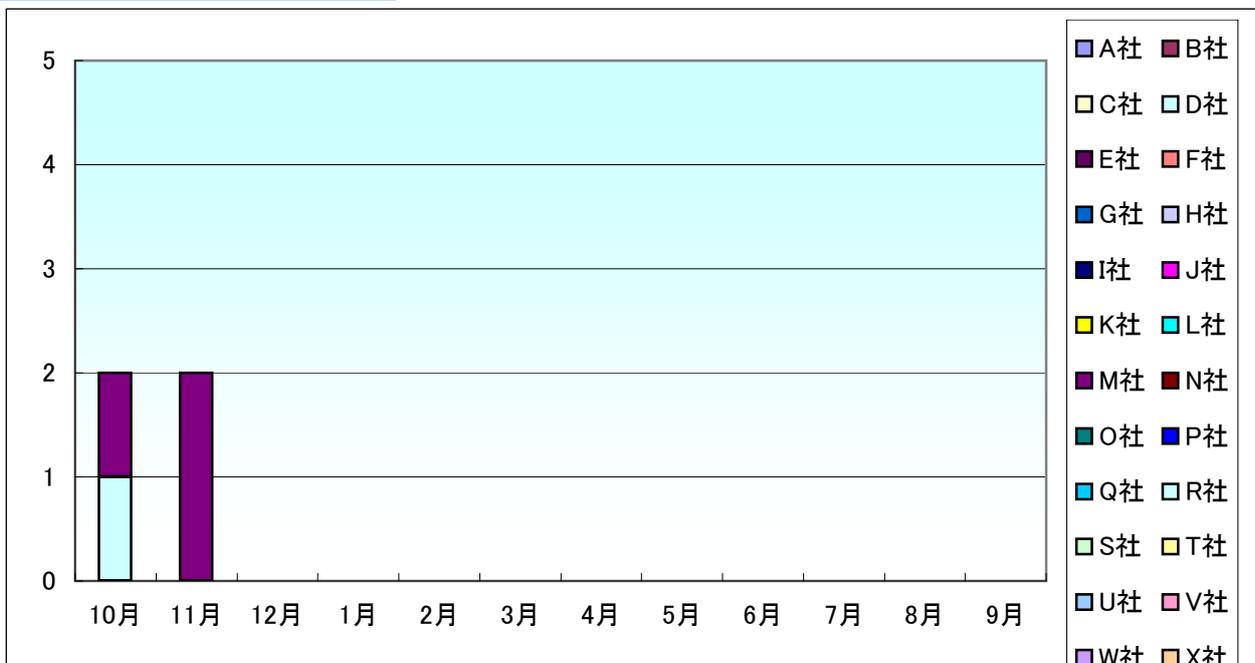
原因別、並びに工程別市場不良発生状況

工程別不具合



11月の不良は2件。
 管理的なミスによる不良であったため、「その他の工程」としました。
 このような管理不良は確実になくさなければいけません。

客先別不具合



客先別累計不良発生率

M社 3件/600台 (5000ppm)
 D社 1件/6,984台 (143ppm)

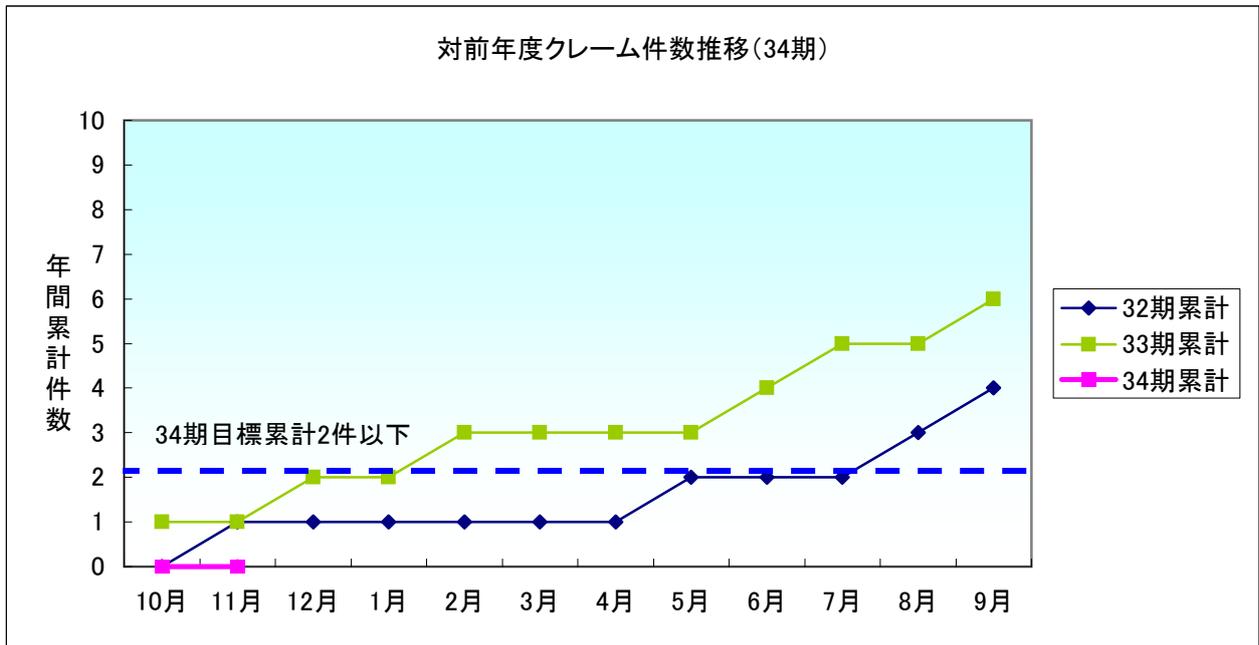
客先別ではM社が目立っています。

品質状況詳細

クレーム発生状況

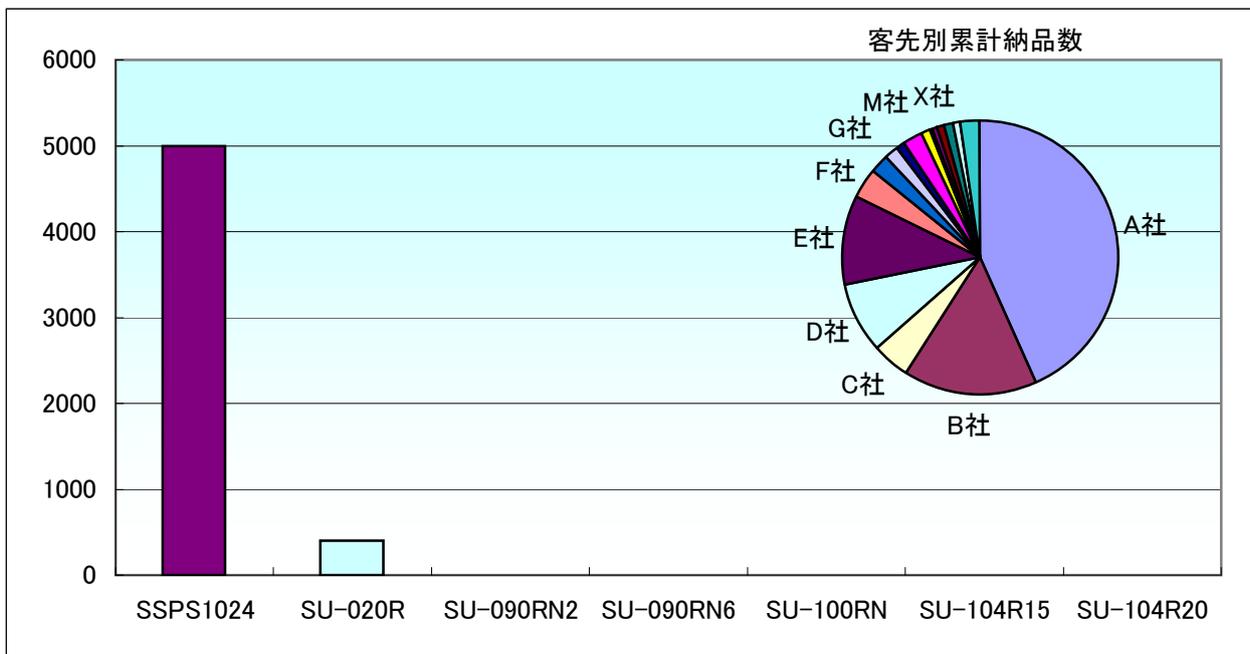
クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合



11月のクレーム不良は0件。
34期のクレーム不良数目標値は2件以下です。

機種別累計不良率



機種別累計不良率です

SSPS1024(M社) 1件/600台(5000ppm)
SU-020R(D社) 1件/2,486台(402ppm)

部品不良もありますが、昨期は1件も無かった標準電源での不良発生が気になります。

品質保証部の活動報告紹介

開発支援機種で生産立ち上げ支援

11/29 S社様開発物件の「開発支援」としてSSD開発技術部でアートワークを行った電源の試作生産がありました。

「開発支援」の延長で、SSDとして電気検査治具の作製・導入、生産立ち上げ支援を行う為、生産工場がある上海に行ってきました。



工場は日系企業の上海工場で、従業員約 1,200名の工場です。

「支援」の目的が「電気検査治具の導入と立ち上げ」ということもあり、SMT工程を見ることはほとんどありませんでしたが、工場説明によるとSMTマシンは9ラインあり、かなり充実した設備を保有しているようでした。

また、自動挿入機の大型部品専用マシン(RHU)を2台保有しているところも、この工場の特徴と思われます。



電気検査治具の導入では、治具の説明を始めると、すぐたくさんの管理者や作業者が集まってきて、内容を理解しようとしている姿が見受けられました。



基板分割の方法や、コーティング剤の塗布方法などで、おかしな点を指摘すると、工場の方々の態度が一変したのを感じました。

「この人、製造わかってるみたい」と思っていたように、それから急に工場の方々と打ち解けてコミュニケーションが取れるようになったのを強く感じました。

言葉は通じなくても「仕事の中身」が共通語になるんだということを実感しました。

(品証 林)